

図工室だより

令和4年 2月 2日

千代田区立九段小学校

校長 清水 明

図画工作科 大高 美和

毎朝が大変寒い今日この頃です。教室は換気をしているため、冷気が入ってきます。しかし子供たちが寒さをものともせず、活動している姿に頼もしく感じています。

現在どの学年も、偶然できた形から発想をする題材をしています。3年生は、切った木材から、4年生は紙に偶然できた模様やちぎった形から、5年生は板を糸鋸のリズムに乗って切り分けた形から、6年生は、和紙の上に偶然できた墨のにじみや刷毛のタッチから、発想しています。

偶然できた形から何かを思いつくとき、子供たちはこれまで見たものや体験したことを思い起こしながら想像を深めます。5年生の「色と形のハーモニー」では、複雑な曲線に切った板を重ねて、「夜の光る海」などの具体的な情景をイメージする児童もいれば「少し不思議な柔らかい感じ」という感覚をイメージする児童もいます。この活動を通し子供たちは日頃の経験のなかで見たことや感じたことを、もう鮮明に再確認しながら造形的に表しています。

ネット上で画像検索すれば「夜の海」「柔らかい」の画一的で美しいイメージ画像が、簡単に入手できる昨今です。しかし、子供たち一人一人が体験を通して育んでいる見方・感じ方は多様です。コロナ禍で活動制限はありますが、図画工作科において、子供たちが美しいと感じたり、夢中になったりする体験一つ一つを大切に、感性を育てていきたいと思っています。

1【1月の図工の様子】

3年生「ギコギコ・トントン」



釘打ちやボンドの付け方を学びました。2学期に切り出した材料を生かしながら、表したいものを見つけて工作します。「くぎで回転する仕組みができた」「面白い形に積み上げた」。活動を通して、釘打の工夫や、接着による安定感のある組み立てを発見しています。

4年生「オリジナル色紙から広がる世界」

自分で作ったオリジナル色紙の模様や、ちぎって偶然できた形から発想を広げます。紙を組み合わせたたり、重ねたりを繰り返すことで、表したいものが見えてきます。自分の色紙だけでなく友達の切り残した紙にも発想を掻き立てられる場合もあるため、リサイクルコーナーを設けて互いの切り残しを交換して活動しました。



5年生「色と形のハーモニー」

じっくり組み合わせを考えたいうで組み立てを完成させました。子供たちは材料を添えたり、少し離れて全体を確認しながら、アンバランスな緊張感、効かせ色、形の組み合わせからできた物語など、それぞれが感じた思いを表しています。



6年生「墨のうた」

2学期末に、硬さや大きさの異なる刷毛、あら縄、ヘアなどで様々な表現を試して、腕慣らしをしました。年明けからはさらに、自分でテーマを見つけて表しました。荒縄の使い方、にじませ方、白抜き剤の使い方、筆先の線、一人一人のこだわりポイントが際立った活動になりました。



2【2月の題材予定】 ※敷物は新聞紙か451のビニール袋を持たせてください。

学年	題材	分野	持ち物
3年	さわってわくわく	平面	敷物 布・スポンジなど触り心地がおもしろい材料 (p38~41を参考に)
4年	この木なんの木	木版画	敷物 タオル又は手ぬぐい(汚れます)
5年	動きを形に	スケッチ 焼き物	敷物 タオル又は手ぬぐい(粘土を覆います)
6年	墨の歌(仕上げ) 12歳の力で 組み立て (進度に合わせて実施) 響き合う形と色を求めて 東京国立博物館出前授業	平面 工作 版画	敷物 書道セット 敷物 敷物 タオル又は手ぬぐい(汚れます) 2月21日(月)敷物 手ぬぐい 防災頭巾

千代田区連合作品展に選出作品の校内展示について

新型コロナウイルス感染症の再拡大に伴い、千代田区連合作品展が中止になってしまいました。それに替わり、選出された児童の作品を2月1日から2月8日までの1週間、校内の各学年フロアーに展示いたします。保護者の皆様への公開は致しませんが、子供同士で鑑賞し、今後の励みとする場にしていきます。

